

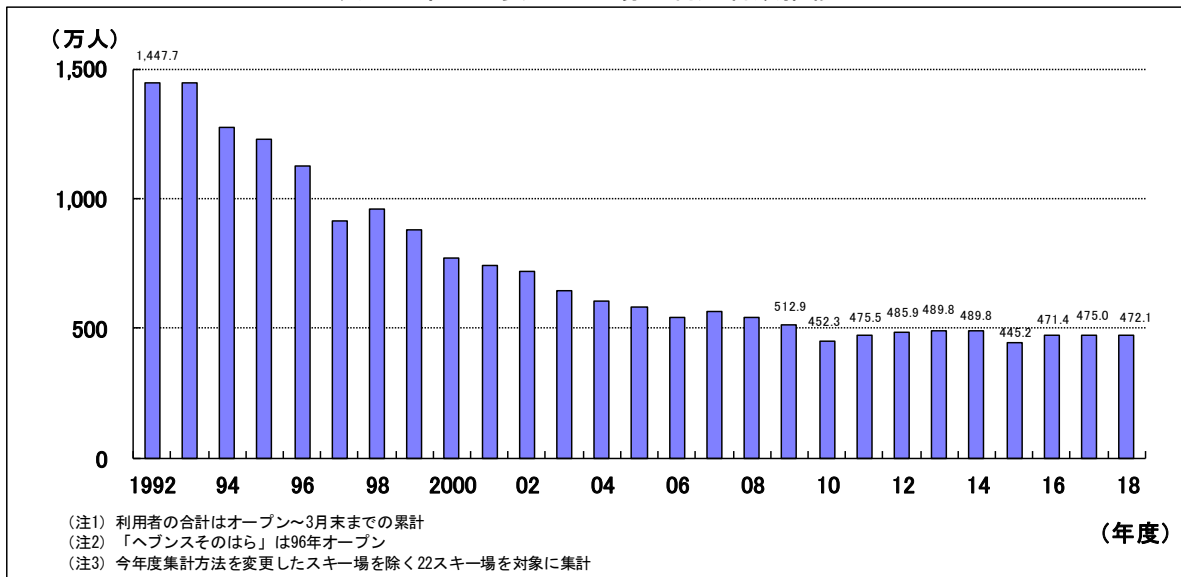
2018年度県内主要スキー場利用動向調査（速報）

～利用者数は3年ぶりに減少、雪不足によるオープン遅れが影響～

1. 利用者数は3年ぶりに前年度を下回る（図表1）

- ・2018年度の県内主要22カ所のスキー場利用者数は、前年度（475万人）を2万9千人下回る延べ472万1千人、前年度比▲0.6%と、3年ぶりに前年度を下回った。

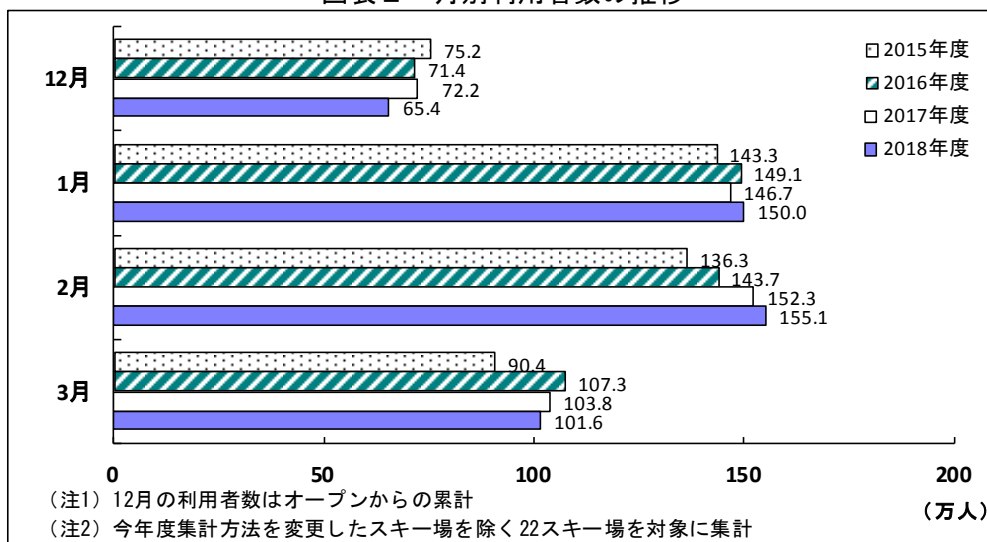
図表1 県内主要スキー場の利用者数推移



2. 1、2月は連休中心に利用者数が伸びるも、12、3月は雪不足により前年割れ（図表2）

- ・12月は、寒気の南下が弱く暖かい日が多かったため、半数以上のスキー場で前年度に比べオープンが遅れた。県北部の一部スキー場では月末にかけ降雪に恵まれたものの、全体的には雪不足に見舞われ、前年より利用者数が減少した。
- ・1～2月は、雪量が確保できた県北部のスキー場を中心に、年始の連休や3連休があったことに加え、外国人利用者も増加傾向にあったことから、前年に比べ利用を伸ばした。
- ・3月は気温の上昇により積雪量が不足したことや、降雪に恵まれ雪量を確保できたスキー場でも、シーズン当初の雪不足のイメージが残り、利用減少が目立った。

図表2 月別利用者数の推移



3. 利用者が前年度割れのスキー場は13カ所（図表3）

- ・主要22スキー場の約6割にあたる13カ所のスキー場で、前年度に比べて利用者が減少した。
- ・県中部・南部では、雪不足による全面オープンが遅れや滑走エリアの制限等により、利用者数を減らしたスキー場が多かった。
- ・県北部のスキー場では、オープンが遅れるなど厳しいシーズンインとなったが、雪量が確保できた1～2月は外国人利用者の利用増加もあり、前年より利用を伸ばした。気温が上昇した3月は一部で雪解けの影響もあったが、シーズンを通じ半数超のスキー場で利用者は前年度より増加した。
- ・外国人利用者は、オーストラリアに加え、台湾や中国などアジア系の利用者の増加が目立った。大北地域のスキー場では、引き続き欧米からの利用者が増加した。

図表3 2018年度県内主要スキー場の月別利用者動向

スキー場	市町村	利用者数（千人）					前年比（％）				
		2018年12月	2019年1月	2月	3月	合計	2018年12月	2019年1月	2月	3月	合計
佐久地域		100	111	114	68	394	21.8	1.2	▲ 0.3	▲ 6.6	3.7
軽井沢プリンスホテル	軽井沢町	92	93	94	56	335	25.5	3.2	▲ 1.0	▲ 7.3	5.1
しらかば 2in1	立科町	8	18	21	12	59	▲ 9.7	▲ 7.7	2.6	▲ 2.9	▲ 3.6
上小地域		52	99	133	87	372	▲ 6.6	▲ 5.5	▲ 0.5	▲ 4.8	▲ 1.6
湯の丸	東御市	23	47	44	43	157	▲ 12.4	▲ 9.4	▲ 1.5	12.4	▲ 2.5
菅平高原	上田市	29	53	89	44	215	▲ 1.4	▲ 1.9	0.0	▲ 1.8	▲ 1.0
諏訪地域		31	79	86	47	244	▲ 11.7	▲ 6.8	▲ 5.9	▲ 4.4	▲ 6.7
車山高原	茅野市	15	33	35	22	104	▲ 6.7	▲ 9.8	▲ 7.6	4.2	▲ 6.0
富士見パノラマ	富士見町	16	47	51	26	139	▲ 16.1	▲ 4.7	▲ 4.8	▲ 10.7	▲ 7.3
下伊那地域		4	15	16	4	39	▲ 12.3	▲ 17.3	▲ 14.0	▲ 40.2	▲ 18.9
ヘブンスのはら	阿智村	4	15	16	4	39	▲ 12.3	▲ 17.3	▲ 14.0	▲ 40.2	▲ 18.9
木曾地域		1	7	10	10	28	▲ 74.1	▲ 30.4	▲ 13.0	▲ 12.6	▲ 25.9
おんたけ2240	王滝村	1	7	10	10	28	▲ 74.1	▲ 30.4	▲ 13.0	▲ 12.6	▲ 25.9
松本地域		8	24	27	17	75	▲ 46.4	▲ 12.8	1.6	▲ 13.8	▲ 14.4
マウント乗鞍	松本市	8	24	27	17	75	▲ 46.4	▲ 12.8	1.6	▲ 13.8	▲ 14.4
大北地域		155	426	423	243	1,247	▲ 25.3	7.8	3.4	▲ 3.5	▲ 1.3
鹿島槍	大町市	11	35	32	16	94	▲ 6.0	0.7	7.1	▲ 4.4	1.0
白馬八方尾根	白馬村	43	131	126	69	369	▲ 30.1	5.3	1.2	▲ 7.8	▲ 4.2
白馬岩岳	白馬村	7	40	52	17	116	▲ 35.7	5.6	2.7	▲ 19.3	▲ 3.8
白馬五竜・47	白馬村	60	127	122	84	394	▲ 26.9	8.3	2.0	▲ 0.0	▲ 2.4
榑池高原	小谷村	33	93	92	57	275	▲ 17.6	14.9	7.4	3.2	5.0
長野地域		31	107	92	55	285	▲ 15.5	1.9	6.3	▲ 1.9	0.3
カクアムスキーパーク	信濃町	12	35	33	19	99	7.2	4.9	13.8	2.2	7.4
黒姫高原スノーパーク	信濃町	10	38	29	17	94	▲ 2.3	2.6	5.4	2.3	2.8
戸隠	長野市	9	34	30	19	91	▲ 42.2	▲ 1.8	0.2	▲ 8.8	▲ 8.6
北信地域		272	631	650	484	2,038	▲ 2.9	3.2	3.0	▲ 0.4	1.4
戸狩温泉	飯山市	10	28	43	22	104	4.2	6.3	▲ 9.5	▲ 12.0	▲ 5.0
斑尾高原	飯山市	24	57	70	36	188	23.4	8.2	12.1	2.9	10.2
志賀高原	山ノ内町	134	266	252	212	864	▲ 10.0	3.1	3.0	1.9	0.5
北志賀高原	山ノ内町	45	140	163	141	489	▲ 1.7	0.0	4.5	0.0	1.3
野沢温泉	野沢温泉村	58	139	122	73	393	4.9	4.3	1.3	▲ 5.2	1.5
県内主要22スキー場合計		654	1,500	1,551	1,016	4,721	▲ 9.4	2.2	1.9	▲ 2.1	▲ 0.6

（資料）調査票をもとに長野経済研究所作成

（注1）四捨五入の関係から、各月の和が合計に一致しない箇所がある

（注2）12月の利用者数はオープンからの累計

（注3）「志賀高原」は志賀高原18スキー場、「北志賀高原」は4スキー場の合計

（注4）2014年度から「Hakuba47ウィンタースポーツパーク」は「白馬五竜」と合算

（注5）今年度集計方法を変更したスキー場を除く22スキー場を対象に集計

【調査の概要】

1. 調査対象

当研究所が毎年、定点調査している県内の主要スキー場23カ所（県内スキー場利用者数全体のおよそ7割に相当）のうち、今年度集計方法を変更したスキー場を除く22スキー場を対象に集計

2. 調査対象期間

2018年11月以降のオープン～2019年3月31日まで

3. 調査方法

当該スキー場ないしスキー場を管轄する市町村に調査票を配布・回収した

4. その他

詳細は経済月報6月号に掲載予定

照会先 長野経済研究所
調査部 村田・大山
電話 026-224-0504

以上